※令和４年度以降入学生用

学校番号	１１０

令和８年度　芸能文化科

教科	芸能文化	科目	舞台演習（総合）	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

３年次は例年、歌舞伎・文楽・宝塚の本公演を鑑賞しています。それぞれの芸能にはそれぞれ独自の様式があり、その形や約束が理解できれば、舞台の鑑賞が大変楽しくなります。そのために文字資料や映像資料を用いて、皆さんの学びを支えます。

2　学習の到達目標

（１）　１・２年生で習得した舞台で活動するために必要な大道具、舞台機構の知識を統合し、芸能作品を鑑賞するための高い知識を習得する。
（２）　作品鑑賞のための基礎知識や史実などを総合して作品の時代の人々の暮らしを考えたり、価値観などを考察する。また、舞台づくりをする際に身につけた知識から適切な舞台表現に活用できる力を身につける。
（３）　クラスメートと作品について意見を交換できる力と態度を身に付ける。ともに一つのものを作り上げるために活動でき、粘り強く取り組む態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各芸能が持つ様式を、芸能としての歴史や舞台技術から理解することができるか。	（１・２年次に鑑賞した舞台も含めて）鑑賞で得られた知見を、自分たちの舞台に生かそうとしているか。	鑑賞する公演に関する情報は数多く発信されている。演技者も著名な演劇人が多い。それらを（ネット情報も含め）自ら得ようとしているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	歌舞伎・文楽	歌舞伎と文楽の舞台鑑賞と、その演劇性を理解する。	a:歴史と特徴を把握し、理解しているか。 b:古典の演劇内容を現代社会に置き換えるなどして、古典に近づこうという意識を持ったか。 c:この芸能とその演技者が持つ社会的役割についての認識と考察を行っているか。	筆記試験	レポート提出	授業観察 レポート提出
後期	近現代演劇と宝塚歌劇	明治期以降の近現代の舞台演劇と、特に宝塚歌劇が持つ演劇性を理解する。	a:社会の流れのなかでの歴史的意義が理解できるか。 b:これらの芸能に対する社会的要請にまで意識を持てるか。 c:この芸能とその演技者が持つ社会的役割についての認識と考察ができるか	筆記試験	レポート提出	レポート提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度